

MediCap®USB300 ネットワーキングガイド

ファームウェア 110701 版およびそれ以降に適用されます¹

はじめに.....	2
スタートする.....	2
USB300 のハードドライブへのネットワークアクセス設定方法.....	3
手順 1. USB300 を設定する.....	3
手順 2. ネットワークにコンピューターを設定する.....	3
ネットワークドライブへの録画設定方法.....	6
手順 1. ネットワークサーバーに共有ホルダーを作成します。.....	6
手順 2. USB300 を設定する.....	7
手順 3. ネットワークへの録画をテストする.....	8
手順 4. ネットワークにコンピューターを設定する.....	8

¹この文書は、ファームウェア 110701 版かそれ以降を起動している USB300 ユニットに適用されます。お使いのファームウェアのバージョンを調べるには、高度な設定メニューの現在の設定オプションを使います。ファームウェアの以前のバージョンに関するドキュメンテーションは、medicapture.com/support を参照してください。ファームウェアのアップグレードに関する支援は、support@medicapture.com まで電子メールをお送りください。

はじめに

MediCap USB300 を標準のイーサネットケーブル経由でネットワークに接続できます。接続にはコンピューターネットワークの知識が必要なため、ネットワーク管理者またはコンサルタントが行ってください。

ネットワーキング機能は USB300 で次のように使用できます：

- **USB300 の内蔵ハードドライブへのネットワークアクセス** – 録画したビデオや画像を、ネットワークを介して、USB300 の内蔵ハードドライブからネットワークドライブへコピーできます。
- **USB300 からネットワークドライブへの録画** - ビデオや画像を「ネットワークを介して」ネットワークドライブの共有フォルダへ録画できます。

本文書は、これらの機能を有効化するのに必要なネットワーク接続について説明します。

支援されるウィンドウズのバージョン

次のウィンドウズバージョンが、USB300 とのネットワーク経由での接続用にサポートされます（現行版であることを保証するため、すべてのサービスパックやアップデートが適用される必要があります）。

- ウィンドウズ XP プロフェッショナル
- ウィンドウズ・ビスタ・ビジネス、ウィンドウズ・ビスタ・エンタープライズ、ウィンドウズ・ビスタ・アルティメット
- ウィンドウズ 7 プロフェッショナル、ウィンドウズ 7 エンタープライズ、ウィンドウズ 7 アルティメット

ウィンドウズの非プロフェッショナル版（ホーム、ベーシックおよびスターター）は、**USB300 へのネットワーク接続はサポートされません**。これらのバージョンは、医療施設などの専門的な環境のために設計されておらず、ネットワーク接続記憶(NAS)装置への接続に不可欠なネットワーク機能を備えていません。具体的に、NAS 装置への接続に必要なローカルセキュリティ・ポリシーツールが含まれません。

スタートする

ネットワークを設定するには、以下の基本手順に従います：

1. イーサネットケーブルを使って、USB300 をお使いのネットワークへ接続します（LAN 接続が裏面パネルにあります）。USB キーボードを、**裏面**パネルの USB コネクターの一つに差し込みます（設定情報の入力にキーボードを使います）。
2. ネットワーク経由で USB300 の内蔵ハードドライブにアクセスする場合は、「USB300 のハードドライブへのネットワークアクセス設定方法」と題する項の手順を完了してください（3 ページ）。
3. USB300 からネットワークドライブへ録画する場合は、「ネットワークドライブへの録画設定方法」と題する項の手順を完了してください（6 ページ）。

USB300 のハードドライブへのネットワークアクセス設定方法

手順 1。USB300 を設定する

1. USB300 のメニュー (Menu) ボタンを押します。高度な設定メニュー、ネットワーク設定を順に選択します。
2. 「ネットワークへ接続する」で「はい」を必ず選択してください。
3. 「IP の設定」で「自動」を必ず選択してください。¹
4. ネットワーク設定画面に戻ります。「共有する内蔵ドライブ設定」を選択し、次を入力します：
 - 機器名 (デフォルトは *USB300*)。
 - パスワード (USB300 をパスワード保護しない場合は、このフィールドを空白にします)。 **パスワードはケースセンシティブです。**
注記: マックコンピューターを USB300 に接続する場合、パスワードは使えないため、このフィールドは空白にします。これは、マックのオペレーティングシステムの限界によるものです。
5. 「保存」をハイライト表示して、選択 (Select) ボタンを押すか、キーボードで Enter キーを押します。これで新規の設定を保存します。**注記:** 「保存」がハイライト表示されている間に、選択ボタンかキーボードの Enter キーを押さない場合、新しい設定は保存されません。

手順 2。ネットワークにコンピューターを設定する

USB300 をネットワークアクセス用に設定した後、USB300 の内蔵ハードドライブをネットワークのコンピューターへ「マッピング」できます。ドライブのマッピング方法は、コンピューターのオペレーティングシステムにより異なります。詳細は、お使いのコンピューターのオペレーティングシステムに関するドキュメンテーションを参照してください。以下の項には、ウィンドウズ XP、ウィンドウズ・ビスタおよびウィンドウズ 7 を起動中のコンピューターへのネットワークドライブのマッピング方法例を記載しています。

重要な注記：

- USB300 のドライブをコンピューターにマッピングすると、ドライブのビデオをお使いのコンピューターで閲覧できます。ただし、低速のネットワークでは遅延が発生するか、または再生中にビデオが開始後停止する場合があります。このため、ビデオをネットワークを介してコピーし、ローカルのハードドライブに存在するようにし、そこで閲覧できるようにします。
- ネットワーク経由で USB300 にアクセスする際には、内蔵ハードドライブにのみアクセスできます。正面または裏面パネルに差し込まれた外付け USB ドライブにはアクセスできません。

ウィンドウズ 7 コンピューターへの USB300 のドライブのマッピング方法

1. ウィンドウズ 7 の次のバージョンのいずれかを必ず使ってください: プロフェッショナル、エンタープライズまたはアルティメット。ホーム・プレミアム、ホーム・ベーシックおよびスターター・エディションはサポートされません。
2. ウィンドウズのスタートメニューで、「コントロールパネル」、「システムおよびメンテナンス」の順に選択し、「管理ツール」、そして「ローカル・セキュリティ・ポリシー」を選択します。

¹ お使いのネットワークで IP アドレスが自動的に設定されない場合、情報を手動で入力します。

3. ローカル・セキュリティ・ポリシーウィンドウの左側のディレクトリツリーで、「ローカル・ポリシー」を選択し、その下の「セキュリティオプション」を選びます。右側のポリシー・リストで、「ネットワークセキュリティ：LAN マネージャ認証レベル」をダブルクリックします。
4. ドロップダウンリストで、「LM & NTLM 送付 - 交渉の場合、NTLMv2 セッションのセキュリティ使用」をOKとクリックし、管理ツールを終了します。
5. ウィンドウズのスタートメニューで、検索スタートフィールドを探し、**\\USB300 を入力します(2つのバックスラッシュが必要です)**。検索を開始するためEnterを押します。この例では、USB300を設定の際に(上記)、デフォルトの機器名 *USB300* を使用したことを想定しています。そうでない場合、2本のバックスラッシュの後に選択する代替名を入力します。
例：\\Endocam1。
6. USB300をパスワード(上記)で設定した場合、接続ウィンドウが表示されますが、そうでない場合は次の手順へ進みます。ユーザ名フィールドで、*USB300*を入力します(デフォルトの機器名を使用したと想定しますが、そうでない場合は、選択する代替名を入力します：例 *Endocam1*)。また、前に選択したパスワードを入力します(ケースセンシティブ)。
7. ハードディスクドライブのアイコン(HDD)が表示され、ドライブが接続されたことを示します。
8. ドライブのアイコンを右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。ネットワークドライブの割り当てウィンドウが表示されます。
9. プルダウンリストからドライブの一文字を選択します。「ログイン時に再接続する」オプションを必ず選択してください。終了をクリックします。検索ウィンドウを終了します。
10. ウィンドウズのスタートメニューから「コンピューター」にアクセスすると、コンピューターのその他のドライブと同様に、USB300の内蔵ハードドライブが表示されます。そのドライブをクリックして、中に含まれる録画画像およびビデオを閲覧します。次に、これらのファイルをネットワークを介してコンピューターのハードドライブ、または接続先のネットワークのその他ドライブにコピーできます(必要なアクセス権限を得た上で)。

ウィンドウズ・ビスタコンピューターへのUSB300のドライブのマッピング方法

1. ウィンドウズ・ビスタの次のバージョンのいずれかを必ず使ってください: ビジネス、エンタープライズまたはアルティメット。ホーム・プレミアム、ホーム・ベーシックおよびスターター・エディションはサポートされません。
2. ウィンドウズのスタートメニューで、「コントロールパネル」、「システムおよびメンテナンス」の順に選択し、「管理ツール」、そして「ローカル・セキュリティ・ポリシー」を選択します。
3. ローカル・セキュリティ・ポリシーウィンドウの左側のディレクトリツリーで、「ローカル・ポリシー」を選択し、その下の「セキュリティオプション」を選びます。右側のポリシー・リストで、「ネットワークセキュリティ：LAN マネージャ認証レベル」をダブルクリックします。
4. ドロップダウンリストで、「LM & NTLM 送付 - 交渉の場合、NTLMv2 セッションのセキュリティ使用」をOKとクリックし、管理ツールを終了します。
5. ウィンドウズのスタートメニューで、検索スタートフィールドを探し、**\\USB300 を入力します(2つのバックスラッシュが必要です)**。検索を開始するためEnterを押します。この例では、USB300を設定の際に(3ページ)、デフォルトの機器名 *USB300* を使用したことを想定しています。そうでない場合、2本のバックスラッシュの後に選択する代替名を入力します。
例：\\Endocam1。
6. USB300をパスワード(3ページ)で設定した場合、接続ウィンドウが表示されますが、そうでない場合は次の手順へ進みます。ユーザ名フィールドで、*USB300*を入力します(デフォルトの機器名を使用したと想定しますが、そうでない場合は、選択する代替名を入力します：例 *Endocam1*)。また、前に選択したパスワードを入力します(ケースセンシティブ)。

7. ハードディスクドライブのアイコン(HDD)が表示され、ドライブが接続されたことを示します。
8. ドライブのアイコンを右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。ネットワークドライブの割り当てウィンドウが表示されます。
9. プルダウンリストからドライブの一文字を選択します。「ログイン時に再接続する」オプションを必ず選択してください。終了をクリックします。検索ウィンドウを終了します。
10. ウィンドウズのスタートメニューから「コンピューター」にアクセスすると、コンピューターのその他のドライブと同様に、USB300の内蔵ハードドライブが表示されます。そのドライブをクリックして、中に含まれる録画画像およびビデオを閲覧します。次に、これらのファイルをネットワークを介してコンピューターのハードドライブ、または接続先のネットワークのその他ドライブにコピーできます（必要なアクセス権限を取得後）。

ウィンドウズ XP コンピューターへの USB300 のドライブのマッピング方法

1. ウィンドウズ XP プロフェッショナル・エディションを使用していることを確認してください。ウィンドウズ XP ホーム・エディションはサポートされません。
2. ウィンドウズのスタートメニューで、検索を選択します。コンピューターにインストールされたウィンドウズ検索がどのバージョンであるかによって、以下のウィンドウのうち**いずれか**が表示されます：
 - 「**検索結果**」ウィンドウ - ウィンドウの上のバーに「検索結果」という題名が表示される場合、コンピューターはクラシックウィンドウズ検索を使用しており、手順 3 に進めます。
 - 「**ウィンドウズデスクトップ検索**」ウィンドウ - ウィンドウの上のバーが「ウィンドウズデスクトップ検索」と表示される場合、コンピューターはオプションのウィンドウズデスクトップ検索機能を使用します。この場合、ウィンドウの左下角にある「ここをクリックして検索コンパニオンを使用」と称するリンクをクリックします。これで追加オプションが表示されます。「コンピューター」をクリックして、手順 4 に進みます。
3. 左下方向の「コンピューター」リンクをクリックします。コンピューターウィンドウの検索が表示されます。
4. コンピューター名フィールドに、*USB300* と入力します。この例では、USB300 を設定の際に（3 ページ）、デフォルトの機器名 *USB300* が使用されたと想定しています。そうでない場合、2 本のバックスラッシュの後に選択する代替名を入力します。今検索ボタンをクリックします。USB300 アイコンが右パネルに表示されているはずで
5. USB300 アイコンをクリックします。USB300 をパスワードで設定した場合（上記手順 5）、接続ウィンドウが表示されますが、そうでない場合は次の手順へ進みます。ユーザー名フィールドで、*USB300* を入力します（デフォルトの機器名を使用したと想定しますが、そうでない場合は、選択する代替名を入力します）。また、前に選択したパスワードを入力します（ケースセンシティブ）。
6. 右パネルの USB300 アイコンがハードディスクドライブのアイコン(HDD)に変更になり、ドライブが接続されたことを示します。
7. ドライブのアイコンを右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。ネットワークドライブの割り当てウィンドウが表示されます。
8. プルダウンリストからドライブの一文字を選択します。「ログイン時に再接続する」オプションを必ず選択してください。終了をクリックします。検索ウィンドウを終了します。
9. ウィンドウズのスタートメニューから「マイコンピューター」にアクセスすると、コンピューターのその他のドライブと同様に、USB300の内蔵ハードドライブが表示されます。そのドライブをクリックして、中に含まれる録画画像およびビデオを閲覧します。次に、これらのファイルをネットワークを介してコンピューターのハードドライブ、または接続先のネットワークのその他ドライブにコピーできます（必要なアクセス権限を得た上で）。

ネットワークドライブへの録画設定方法

手順 1. ネットワークサーバーに共有ホルダーを作成します。

「ネットワークへの録画」機能を設定する上での第一手順として、ネットワークサーバーに共有フォルダを作成します。USB300 で録画する際には、ビデオおよび画像は「ネットワークを介して」この共有フォルダに録画されます。

作成された共有フォルダを指し示すネットワークのパス名をメモしておきます。例:

\\MY_SERVER\MY_FOLDER\ パス名は初めに二本のバックスラッシュ、終わりに一本のバックスラッシュが付きます。また、共有フォルダがパスワード保護されている場合、ユーザー名およびパスワードをメモしてください（ケースセンシティブ）。これらの手順において、後でこの情報が必要となります。

ネットワークサーバーへ共有フォルダを作成する方法は、サーバーのオペレーティングシステムにより異なります。お使いのサーバーのドキュメンテーションを参照してください。ウィンドウズ 7 およびウィンドウズ XP の例は、以下に含まれます。

ウィンドウズ 7 での共有フォルダの作成方法

- この例では、「共有フォルダを作成する」ウィザードを使用します（共有フォルダをマニュアルで作成するには、マイクロソフトのドキュメンテーションを参照してください）。ウィザードを開始するには、ウィンドウズ検索ボックスに *shrpwb* とタイプし、Enter キーを押します。ウィザードの「ようこそ」ウィンドウが表示されます。次へをクリックします。
- 「フォルダパス」ウィンドウには、次の二つのフィールドがあります：
 - コンピューター名 - 自動的にコンピューターの名前を表示します。コンピューター名は変更しないでください。ただしこの例では、その名を MY_SERVER とします。
 - フォルダパス - 参照ボタンをクリックして、共有する既存フォルダを選択します（または新規フォルダの作成をクリックして、新しいフォルダを作成します）。この例では、MY_FOLDER を使います。

次へをクリックします。

注記: この例ではすべて大文字を使いますが、コンピューター名、フォルダ名およびパス名はケースセンシティブではありません。フォルダのパスワードはケースセンシティブです。

- 「名前、説明および設定」ウィンドウには、次の四つのフィールドがあります：
 - 共有名 - 手順 2 と同じフォルダ名を入力します。この例では、MY_FOLDER です。
 - 共有パス - この名前は自動的に表示されます。手順 5 で再度表示されるため、ここでは無視します。
 - 説明 - このフィールドはブランクにします。
 - オフライン設定 - デフォルト設定を使います（「オフラインで入手可能なファイルおよびプログラムを選択」）。

次へをクリックします。

- 「共有フォルダ権限」ウィンドウで、「権限をカスタマイズ」を選択して、カスタムボタンをクリックします。「権限をカスタマイズ」ウィンドウでは、誰もがフォルダへの全権限を有することを確認して、OK をクリックします。（これらの権限は、ネットワークの録画が有効になった後で調節できますが、USB300 は常に完全な制御、変更および読出しの権限を有する必要があることに注意します。）終了をクリックします。
- 「共有に成功しました」ウィンドウが表示されます。

重要: 共有パスフィールドに表示される名前をメモしてください。これは、後ほど USB300 を設定する際に入力する「ネットワークパス」と同じですが、例外としてネットワークパスには最後にバックスラッシュが一本付きます。この例では、共有パスは

\\MY_SERVER\MY_FOLDER です。USB300 には、\\MY_SERVER\MY_FOLDER\ (最後にバックスラッシュが追加される) と入力します。

終了をクリックします。

ウィンドウズ XP での共有フォルダの作成方法

1. この例では、コンピューター名は MY_SERVER です。コンピューターの実際の名前を見つけるには、コントロールパネルを開きます。システムをクリックしてから、コンピューター名のタブをクリックします。「コンピューターの説明」ではなく、「フルコンピューター名」を覚えておきます。コンピューター名は変更しないでください；ただしこの例では、MY_SERVER とします。
2. 通常行うように、コンピューターの新規フォルダを作成します (エクスプローラーウィンドウを右クリックして、新規 > フォルダを選択します)。フォルダを MY_FOLDER と命名したと仮定します。
3. MY_FOLDER を右クリックして、プロパティを選択します。プロパティウィンドウが表示されます。
4. 共有タブをクリックします。「ネットワークでこのフォルダを共有する」を選択し、「ネットワークユーザーによるファイル変更を許可する」を選択します。「共有名」はデフォルトではフォルダ名となります。この例では、デフォルトを使います (MY_FOLDER)。共有名はネットワークパス名に使われるため、共有名をデフォルトから変更する場合は、変更名を覚えておく必要があります。プロパティウィンドウを閉じるのに、OK をクリックします。
5. これらの手順の後ほど、ネットワークパス名を、たった今作成した共有フォルダに使います。この例でのネットワークパス名：\\MY_SERVER\MY_FOLDER\ **パス名の最初にバックスラッシュが 2 本付き、最後に 1 本付くことを覚えていてください。** この例ではすべて大文字を使いますが、コンピューター名、フォルダ名およびパス名はケースセンシティブではありません。
6. この例では、フォルダはパスワード保護されていません (ウィンドウズ XP の共有フォルダはパスワード保護できません)。従って、これらの手順の後ほどで USB300 を構成する際には、ユーザー名およびパスワードのフィールドは空白にします。

手順 2。USB300 を設定する

1. USB300 のメニュー (Menu) ボタンを押します。高度な設定メニュー、ネットワーク設定を順に選択します。
2. 「ネットワークへ接続する」で「はい」を必ず選択してください。
3. 「IP の設定」で「自動」を必ず選択してください。
4. ネットワーク設定画面に戻ります。「ネットワーク録画設定」を選択し、以下を入力します：
 - ネットワークパス このパス名は、前項で作成した共有フォルダを指し示します (例：\\MY_SERVER\MY_FOLDER\)。 **入力の最後にバックスラッシュを付けます。**
 - ユーザー名とパスワード (ケースセンシティブ)。共有フォルダをパスワード保護しない場合は、これらのフィールドを空白にします。
5. 「保存」をハイライト表示して、選択 (Select) ボタンを押すか、キーボードで Enter キーを押します。これで新規の設定を保存します。 **注記: 「保存」がハイライト表示されている間に、選択ボタンかキーボードの Enter キーを押さない場合、新しい設定は保存されません。**
6. 設定メニューを選択し、「ネットワークストレージへの録画」を選択します。「保存」を選択し、次にメニュー (Menu) ボタンを押してメニューを終了します。

手順 3. ネットワークへの録画をテストする

前項で作成した共有フォルダに録画を開始できます。ビデオの録画 (Record Video) ボタンを押します：

- 録画に成功すると、ビデオの録画 (Record Video) ボタンの隣の LED がグリーンに点滅します。現在のケース番号および録画番号が、カメラアイコンと共に、モニターの左上角に表示されます。ビデオの録画 (Record Video) ボタンを再度押すと、録画が停止します。共有フォルダをサーバーからアクセスする場合、録画したファイルを見ます。これで次の手順に進み、ネットワークのコンピューターで共有フォルダにアクセスできます。
- 録画に成功しなかった場合、ビデオの録画 (Record Video) ボタンの隣の LED がグリーンに点滅し、「ネットワーク接続不良」を示すアイコンが、モニターの左上角に表示されます。

次はいくつかのトラブルシューティングのヒントです：

- USB300 の電源をオフとオンにして、再起動を試みます。
- USB300 がネットワークに接続されたかどうかを調べるには、ネットワーク上のコンピューターを使って、USB300 の内蔵ハードドライブにアクセスします。3 ページの「USB300 のハードドライブへのネットワークアクセス設定方法」を参照してください。
- フォルダのパスワードはケースセンシティブです。
- 当初は、共有フォルダのパスワードを保護しないでください（ユーザ名およびパスワードなし）。ネットワークの録画が稼動した後で、パスワード保護を追加できます。ウィンドウズ XP およびウィンドウズ・ビスタコンピューターのフォルダはパスワード保護できないことに注意してください。
- 共有フォルダに録画できるが、録画画像が破損しているかギャップがある場合、ネットワークが低速であるか混雑している可能性があります。低解像度での録画を試してください（USB300 の設定メニューで設定）。共有フォルダへの録画には、堅牢なネットワーク、ネットワーク混雑解消および 100 か 1000Mbps の速度での稼動が要求されます。

注記: 共有フォルダへの録画は、USB300 の内蔵ハードドライブまたは外付けの USB ドライブへの録画に大変似通っています。ビデオの録画中に画像を録画したり、現在の患者のセッションで録画されたビデオを閲覧することができます。ただし、内蔵ハードドライブまたは外付けの USB ドライブへの録画時のように、前の患者のセッションのビデオを閲覧することはできないので注意してください。

手順 4. ネットワークにコンピューターを設定する

ウィンドウズ 7 またはウィンドウズ・ビスタコンピューターへの共有フォルダのマッピング方法

以下の手順で、コンピューターに共有フォルダをドライブとして、「マッピング」します（これらの手順で以前に共有フォルダを作成済みです）。共有フォルダはネットワークサーバー上に存在し、USB300 で録画したビデオや画像が含まれます。

1. スタートボタンをクリックします（デスクトップの左下端にある丸いボタン）。次にコンピューターをクリックします。これでコンピューターウィンドウが開きます。
2. コンピューターウィンドウの上部のツールバーにある、ネットワークドライブの割り当てをクリックします（ネットワークドライブの割り当てが見えない場合は、ウィンドウを拡大してください）。これでネットワークドライブの割り当てウィンドウが開きます。
3. ネットワークドライブの割り当てウィンドウで、参照するをクリックします。これでフォルダの参照ウィンドウが開きます。

4. フォルダの参照ウィンドウで、前に作成した共有フォルダをクリックして、OKをクリックします。これでネットワークドライブの割り当てウィンドウに戻ります。
5. ネットワークドライブの割り当てウィンドウで、表示されるドライブ文字をメモします。これがUSB300で録画したビデオや画像を包含する「割り当て」ドライブです。
6. 「ログオン時に再接続」を必ず選択し、終了をクリックしてください。
7. プロンプトが表示されたら、共有フォルダ用のユーザー名およびパスワードを入力します（ケースセンシティブ）。次にOKをクリックします。
8. 共有フォルダが開きます。次回、ウィンドウズのスタートメニューから「コンピューター」にアクセスすると、コンピューターのその他のドライブと同様に、共有フォルダが表示されます。そのドライブをクリックして、中に含まれる録画画像およびビデオを閲覧します。

ウィンドウズ XP コンピューターへの共有フォルダのマッピング方法

以下の手順で、コンピューターに共有フォルダをードライブとして、「マッピング」します（これらの手順で以前に共有フォルダを作成済みです）。共有フォルダはネットワークサーバー上に存在し、USB300で録画したビデオや画像が含まれます。

1. 任意のウィンドウズフォルダを開きます。例えば、マイドキュメントフォルダを開くことができます（デスクトップの左下端にある緑色のスタートボタンをクリックして、マイドキュメントをクリックします）。
2. フォルダウィンドウの上部で、ツールメニューをクリックします。次に、ネットワークドライブの割り当てをクリックします。これでネットワークドライブの割り当てウィンドウが開きます。
3. ネットワークドライブの割り当てウィンドウで、参照するをクリックします。これでフォルダの参照ウィンドウが開きます。
4. フォルダの参照ウィンドウで、前に作成した共有フォルダをクリックして、OKをクリックします。これでネットワークドライブの割り当てウィンドウに戻ります。
5. ネットワークドライブの割り当てウィンドウで、表示されるドライブ文字をメモします。これがUSB300で録画したビデオや画像を包含する「割り当て」ドライブです。
6. 「ログオン時に再接続」を必ず選択し、終了をクリックしてください。
7. プロンプトが表示されたら、共有フォルダ用のユーザー名およびパスワードを入力します（ケースセンシティブ）。次にOKをクリックします。
8. 共有フォルダが開きます。次回、ウィンドウズのスタートメニューから「マイコンピューター」にアクセスすると、コンピューターのその他のドライブと同様に、共有フォルダが表示されます。そのドライブをクリックして、中に含まれる録画画像およびビデオを閲覧します。

©2012 MediCapture Inc.